

令和6年度使用

豊能郡地区小学校教科用図書 推薦書

令和5年度豊能郡地区教科用図書調査研究委員会

推 薦 発 行 者

種目	推薦発行者名（発行者番号順）			出版社数	現在使用教科書
国語	東書	光村		3	光村
書写	教出	光村		3	光村
社会	東書	教出		3	東書
地図	東書	帝国		2	帝国
算数	東書	学図	啓林館	6	啓林館
理科	東書	大日本	啓林館	6	啓林館
生活	東書	学図	教出	7	東書
音楽	教出	教芸		2	教芸
図画工作	開隆堂	日文		2	日文
家庭	東書	開隆堂		2	開隆堂
保健	東書	大修館	学研	6	東書
英語	東書	開隆堂	三省堂	6	光村
道德	東書	光村	日文	6	日文

総合評価A	理 由
【2】 東書	<p>○全単元において「言葉の力」を単元冒頭と単元末に示しており、身につけた力を他教科の学習や日常生活に生かせるように記載されており、適切である。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p> <p>○児童にとって、興味や関心のある題材や昔からある読み物教材があり、適切な記述や分量となっている。</p> <p>○表紙の裏や四季ごとに詩を掲載しており、詩に親しみやすい。</p> <p>○3年生から巻頭に「デジタルノートの作り方」が掲載され、国語科での ICT 機器活用につながる。</p> <p>○他教科との合科的・関連的な指導や、地域との連携が図れる教材や題材を積極的に取り上げている。</p>
【38】 光村	<p>○単元の冒頭に「話す・聞く」「書く」「読む」のアイコンがあり、単元において学習する内容や目標が、目で見て特にわかりやすい。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p> <p>○小書きの文字は、ユニバーサルデザインの視点から、見やすさや読みやすさが非常に配慮されている。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が、発達段階に応じたものとなっており、とても工夫されている。</p> <p>○ページ順の目次とは別に、「話す・聞く、書く、読む」の目次があり、単元のつながりを意識することができ、特に優れている。</p> <p>○物語文や説明文の冒頭には、単元のめあてが示されており、文章のあとには「見通しをもとう」「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と見通しをもって学習を進められる配慮がなされていて、非常に優れている。</p> <p>○教科書の随所に発達段階において、多様な本が紹介されており、幅広い分野に関する知識や教養を豊かにできるように配慮されており、非常に優れている。</p>

総合評価A	理 由
【17】 教出	<p>○書写における「主体的・対話的で深い学び」を進めることができるよう、そのきっかけとなる「学習の動機づけ」「目次」「学習の進め方」を丁寧に示している。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。</p> <p>○毛筆で学んだことが、硬筆での学習につながるように構成し、学習した内容が、日常の学習につながるように工夫されている。</p> <p>○「知りたい 文字の世界」のページを設け、文字に対する興味を持ち、多様な文字の文化に関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>○メモをとったり、レポートをまとめたり、ポスターを描いたりなど、他教科の学習活動の中で、書写で学習した内容を生かした指導計画が立てやすいように工夫されている。</p>
【38】 光村	<p>○毛筆で学習したことを、硬筆においても生かす意識を高めることができるよう、ページ下部に硬筆欄を設置していて、非常に良い。</p> <p>○すべての児童にとって使いやすく、わかりやすいよう、文字の大きさやフォント、ページのレイアウトや図の配色などが配慮されていて、適切である。</p> <p>○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階に応じたものとなっており、工夫されている。</p> <p>○各教材において、①導入（目標の確認）→②理解（文字の原理・原則）→③確認（毛筆や硬筆で書いて確認する）→④活用（習得した技能を他の文字に活用する）→⑤振り返り（学習内容の確認）という展開で統一して構成され、展開が一目でわかり、児童にも教員にとってもわかりやすい。</p> <p>○姿勢や筆記具の持ち方が定着するよう、「書写体操」と「整理体操」を掲載されている。絵や動画を見ながら取り組むことができるようになっており、非常によい。</p> <p>○他教科との関連教材「書写を広げたい」を豊富に位置づけ、教科横断的な学習が充実するよう配慮されている。</p> <p>○4年生では「SDGsブック」を設けるなど、教科書全体を通して、SDGsの達成に向けた工夫がなされている。</p>

総合評価A	理 由
<p>【2】 東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3年「はたらく人とわたしたちの暮らし」では、様々な仕事に従事している方々の写真を紹介していたり、「工場の仕事」で明太子がどのように作られるのかを扱っていたりしており、児童に興味を持たせる工夫がされている。また「店ではたらく人」では、消費者の視点とバックヤードでの仕事が紹介されている。児童が様々な視点から考えることができる工夫がされており、非常に優れている。 ○4年「国際交流に取り組むまち・仙台市」では、外国人住民が安心して生活できる町の取り組みについて取り扱われており、共生していくための具体的活動がわかりやすい。 ○5年では、「地形→高い土地・低い土地」「気候→暖かい地域・寒い地域」と分けて扱われており、児童にとって理解しやすい。 ○児童の発達段階に応じた分量とわかりやすい表現で記述されている。吹き出しを使った問題提起や「ことば」を活用した学習のまとめは、より深い学びにつながる工夫がされており、非常に優れている。 ○「上、下」「政治・国際編、歴史編」に分けることによって、持ち物の重さの負担を軽減している。 ○各单元において、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の学習段階が明示されており、問題解決的な学習を効果的に進められる。 ○全体的に図や写真が大きく示されており、学習の視点を持たせる工夫がされている。 ○「暮らしをささえる電気」では、再生可能エネルギーに焦点を当て、未来のエネルギー使用を考えるきっかけになっている。
<p>【17】 教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○3年「土地の高い所と低い所コースをたんけん」は、校区たんけん・絵地図づくりの学習方法への手引きとなっている。3次元の世界を2次元に移しかえる学習であり、大切な内容である。 ○3年「工場ではたらく人と仕事」では、シュウマイがどのように作られるのかを扱っており、児童に興味を持たせるものとなっている。 ○4年「ごみはどこへ」では、「家庭で出るごみ調べ」から始まっており、身近なところから学習がスタートしている。また、体験的な活動や生活体験とつなげる考え方が重視されている。 ○「国際交流がさかんなまちづくり」では、特に近隣諸国（中国・韓国）との交流に焦点を当て、互いの国について知り合い、共生していくための取り組みが取り扱われている。 ○各单元において、学習段階の「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」が明示されている。児童が、見通しをもって主体的に学習を進めていける内容になっている。「次につなげよう」で、単元を通じた追及の連続や思考の深まりを促している。 ○見開きを単位とした紙面を、本文と資料を明確に区分するなど、整理・パターン化されている。また、折り返しの多い文章は、文節で改行されており読みやすい。

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「空からまちを見てみよう」では、町を横から、斜めから、上からと、徐々に地図に近づけていく工夫がされており、地図の意味などが分かるように工夫されている。 ○世界のページには、それぞれの国の伝統文化や、食文化、自然環境などが大きく取り扱われており、広く世界へと視野を広げるきっかけとなる工夫がされている。 ○地図のきまり、地図帳の使い方、広く見渡す地図、都道府県を見る地図、詳しく見る地図、世界地図、資料地図、統計表、索引と順当な配列となっている。 ○「日本の歴史 ◆世界との関わり◆」では、日本と世界との関わりが、わかりやすく解説されている。 ○「明治初期に確定した日本の領土」「第2次世界大戦後の日本の領域」など、領土問題について、多角的な見方を育てることができる。 ○産業や史跡など、学習に関連したアイコンが詳しく設けられており、多様な問題解決的な学習に活用しやすいようになっている。
【46】 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○「地図って何だろう」において、真横から見た学校・ななめ上から見た学校・真上から見た学校と配列し、地図とは何かをていねいに扱っている。さらに、「地図のやくそく（1）」で方位、「地図のやくそく（2）」で地図記号、「地図のやくそく（3）」で色（土地利用）が扱われており、児童の関心や理解を深める工夫が、非常に優れている。 ○立体感のある表現であり、イラスト地図で土地利用の様子がよくわかるとともに、視覚的に落ち着いた色彩を用いて、視覚特性に配慮している点が、特に優れている。 ○地図上の情報が、少ないものと多いものに分かれており、児童にとって読みやすい。また、重要な地名を探しやすい。 ○「地図のやくそく」の次に「広く見わたす地図」を置き、その後に「都道府県地図」を置く配列になっている。「広く見わたす地図」で、それぞれの都道府県の特徴がわかり、その概観を捉えやすくなっている。 ○「ふきだし」の内容が、児童のつぶやきになっており、いろいろな観点から学習することを促す工夫がされている。 ○食べ物・動物・人物など、児童の興味・関心に対応するアイコンが設けられており、多様な問題解決的な学習に活用しやすい点が非常に優れている。

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○2年生以上の上巻巻頭に授業開きのページ「学びのとびら」を設定し、主体的・対話的な問題解決の過程を可視化し、体感した上で1年間の学習に入っていけるようになっている。 ○イラストで登場する児童が眼鏡をかけていたり、髪の毛を束ねたりピンで留めたり、多様性について考慮されている。 ○年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。 ○1年入門期に使用するA4判の1年①がノートの機能を持たせた構成になっていたり、2年のひっ算の学習のときに数をブロックで表現したりして、10進法が理解しやすくなっている。 ○単元末や巻末に「たしかめよう」や「つないでいこう 算数の目」「ほじゅうのもんだい」「おもしろ問題にチャレンジ」「ふりかえりコーナー」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○デジタルコンテンツでは、学習に役立つ情報を得たり、練習問題を行ったりすることができ、練習問題には自動正誤判定機能がある。
【11】 学図	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のはじめだけではなく、いろいろな場面で「めあて」が例示されていて、学習の流れの中で自然と児童が学ぶ目的を持てるようになっている。 ○ユニバーサルデザインの観点から色使いやレイアウトなどが配慮されており、サイズも大きめで紙面に余裕がある ○文章の記述や分量について、児童の発達段階を考慮した内容になっている。また、漢字の使用では、国語科と関連して支障のないように配慮されている。 ○1年生の数の学習では10まで、30まで、120までと分け、十進位取り記数法の定着に十分な時間がかけられるようになっている。 ○「考え方モンスター」を一覧できるようにすることで、場面に応じた「見方・考え方」を見付けられるようになっている。また、前学年で学んだ学習を領域ごとに振り返ることができるようになっているとともに、どんなところで考え方モンスターを見つけたかが一目でわかるようになっている。 ○「算数パトロール隊」では、児童がつまづきやすい内容を課題形式で掲載している。また、継続的な既習事項の反復などを通して、学年間や学年を超えても継続して学習できるような配慮がされている。 ○単元末や巻末に「できるようになったこと」「まなびをいかそう」「ふりかえろう！」「算数パトロール隊」「今の自分を知ろう！」「ほじゅう問題」「ふかめよう」などが設けられ、学習を振り返り、深めることができるよう配慮されている。 ○「大きな数」では、ブロックを使った学習が行われ、量感を伴った理解ができる。

【61】
啓林館

- 「数学的な見方・考え方」には子どもキャラクターの吹き出しにマーカーを付して価値づけられるようになっている。数学的活動をベースに学習展開が構成されている。
- イラストで外国にルーツのある子どもや、車いす・眼鏡を使用している子どもなどを掲載し、多様性を認める態度が養えるよう配慮されている。
- 各単元においては、児童にとって身近な題材や既習の内容をベースにした導入となっていて、児童の思考の流れに沿った展開になっている。
- 年間を通して、各領域を学習できるように配列されている。巻頭のもくじでは、それまでに学習した関連単元も示されている。
- 各単元の学習に入る前に既習内容を確認する「じゅんぴ」の問題を用意し、新しい学習に入る前にレディネスチェックができるようになっている。また、日常生活や社会の事象を数学化した課題が多く設定されている。SDGsについて考えることができる課題も取り扱っている。
- 個別最適な学びや協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。
- デジタルコンテンツが随所にちりばめられ（全 1614 コンテンツ）、児童の興味を喚起し、深い学びを促したり、自宅学習を支援し、個に応じた学びを実現したりできるようになっている。

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○観察実験などを通して、問題解決の力が身につくように教材が適切に取り扱われている。 ○教材内容は、人権尊重の観点に十分な配慮がある。 ○学年に応じた文の量であり、教科書の隅々まで児童の発達段階を考慮している。 ○単元構成は季節に応じており、掲載順に学習を進めることができる。 ○学習で得るべき知識を掲載した箇所の付近に QR コードが掲載されており、デジタルコンテンツへの誘いが容易であり、児童が家庭学習でデジタルコンテンツを巧みに活用する場面も想像できる。得たいときに得るべき情報が収集できる点において、非常に優れている。 ○実験・観察のページでは写真や挿絵等の資料が豊富に用いられており、学習の見通しが持ちやすく、非常に優れている。 ○重要語句を本文上で下線太字にし、巻末の「1年間をふりかえろう」でも取り上げている。 ○「広げよう！理科の発想」や「こんなところにも！理科の世界たんけん部」等では、理科の学習と日常生活や社会との関係を明確に示しており、発展的な思考に導く工夫もある。
【4】 大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○観察実験などを通して、問題解決の力が身につくように教材が適切に取り扱われている。 ○教材内容は、人権尊重の観点に十分な配慮がある。 ○学年に応じた文の量であり、教科書の隅々まで児童の発達段階を考慮している。 ○単元構成は季節に応じており、掲載順に学習を進めることができる。 ○学習で得るべき知識の QR コードが掲載されており、デジタルコンテンツへの誘いが可能であり、児童が家庭学習でデジタルコンテンツを活用する場面も想像できる。 ○実験・観察のページでは写真や挿絵等の資料が豊富に用いられており、学習の見通しが持ちやすく、非常に優れている。 ○重要語句を本文上で太字にし、巻末の「〇年のまとめ」でも取り上げている。 ○「学んだことを生かそう」や「サイエンスワールド」等では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。
【61】 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○観察実験などを通して、問題解決の力が身につくように教材が適切に取り扱われている。 ○教材内容は、人権尊重の観点に十分な配慮がある。 ○学年に応じた文の量であり、教科書の隅々まで児童の発達段階を考慮している。 ○単元構成は季節に応じており、掲載順に学習を進めることができる。 ○学習で得るべき知識の QR コードが掲載されており、デジタルコンテンツへの誘いが可能であり、児童が家庭学習でデジタルコンテンツを活用する場面も想像できる。 ○単元導入では、身近な体験や写真資料が取り扱われており、児童の興味・関心を高め、

疑問や気づいたことなどを引き出し、問題解決学習が行えるよう工夫されている。

○重要語句を本文上で太字にし、単元末の「まとめノート」でも取り上げている。

○「活用しよう」では、学んだことと身近な生活との関わりについて発展的に考えることができる。

総合評価A	理 由
<p>【2】 東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学びを深めるコーナーや学びのプロセスなどが示され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されており、主体的な学びを通して表現できるような構成となっている。 ○写真・挿絵などで外国の人・障がいのある人、幼児・高齢者など、多様な人々の関わりやふれあいの場面が適切に取り扱われ、自然に児童の目につくよう特に工夫されている。 ○2年間で徐々に活動の質を高め、四季の変化を意識しながら生活や学習ができるような配列・構成となっており、他教科との関連的な指導のヒントが多数掲載されている。 ○「やくそく」「しらべよう」などの紙面のレイアウトが固定され、非常にわかりやすく表示されており、学習が段階的に高まることを意識した内容になっている。 ○具体的な活動のイメージが持てるように工夫され、特にふりかえりや表現活動が充実している。 ○巻末の「ほんとうのおおきさいきものずかん」により、学習活動が具体的な活動になるよう工夫されている。また、一人ひとりの興味関心に合わせて活用できる二次元コードが豊富に掲載され、自ら学習を発展させ、他の学習や生活に生かせるよう配慮されている。
<p>【11】 学図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○児童による自己決定（見える）、対話（つながる）、ふりかえり（広がる）の構成で活動が展開され、色々な人やものと直接関わる活動や体験を多く取り入れられている。 ○男女の役割分担に偏りがないように配慮したり、バリアフリーなど福祉設備を取り上げたり、身の回りの人への配慮等工夫がされている。また、挿絵は落ち着いた色合いになっている。 ○シンプルで見やすい紙面になっており、すべての児童にわかりやすく表現されている。また、内容的な深まりが無理のない形で発達段階に考慮した内容になっている。 ○ストーリー性を持たせた設定やキャラクターの設定など、活動の展開がわかりやすく、基本1単元1見開き単位で構成され、見開き右下で次の活動へ繋げていくことができる。 ○「ものしりのうと」「ものしりずかん」など資料が充実しており、学習を発展させることができ、「もっと♪」のコーナーを設けることで、自ら学習を発展させ、他の学習や生活に生かすことができるよう配慮されている。
<p>【17】 教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各単元に「なにをかんじたかな」が設けられ、友だちと交流し認め合ったり、振り返って捉え直したりする構成になっており、生活上必要な習性や技能の習得を確かなものにすることができる。 ○多様な人々が描かれており、お互いを尊重して学び合うことを大切にした紙面作りとなっている。特に、外国の子どもや障がいのある子が学級の中で一緒に活動する様子が多数掲載されていて、自分と異なる立場を尊重するように配慮されている。 ○分かりやすい言葉遣いで表現され、「かんがえまとめいろ」や「はっけんロード」を

	<p>たどりながら学習をとらえることができ、幼児期からの学びを小学校に、「はってん」コラムにより、中学年への学びへとつなげるように考慮されている。</p> <p>○気づく、考える、伝える、挑戦するという学習の流れがわかりやすい配列となっている。</p> <p>○各単元にヒントが設けられ、多様な学習方法で活動できるように工夫されており、学びのポケットで他教科との学習をつなげ、教科横断的な学習等の多様な学習ができる。</p>
--	--

総合評価A	理由
【17】 教出	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻頭にある学習マップでは、学習の見通しを示し、各題材で学習する内容をイラストや写真で、視覚的に非常にわかりやすく解説されている。3年生以上では、「学習の進め方コーナー」を設け、学習の目的や留意点が簡潔に示されている。 ○歌唱教材については、音域や曲の長さ、歌詞の内容などが発達段階に即したものになっている。鍵盤ハーモニカやリコーダーについては、新出音など細やかなステップアップで扱われており、発達段階に即した技能を定着するために非常に配慮されている。 ○前の学習を思い出すためのカエルのキャラクターや、学び方を示す「まなびナビ」など、様々なマークが設定されており、児童が見通しをもって学習に向かえるようになっている。 ○「鑑賞」において、言語活動の流れがわかりやすいように示されている。また、豊かな言語活動ができるように、巻末に「音楽を表すいろいろな言葉」が示されており、非常に使いやすい。 ○「音楽づくり」において、文字やイラスト、活動例などが適切に示され、児童が活動の見通しを持つことができ、非常に取り組みやすいものになっている。 ○折り込みを使ったワイドな紙面で歌詞の内容に沿った写真が掲載されており、曲のイメージが膨らませやすい。
【27】 教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年の巻頭にある学習マップでは、「歌う」「きく」「演奏する」「つくる」の4つの領域に、各学年、目標が設定されており、1年間の見通しを持つことができる内容になっている。 ○「何を学ぶか」「何ができようになるか」が、具体的にわかりやすく示されている。 ○キャラクターの設定があり、学習活動を展開するための具体的な手立てや活動を発展させるためのヒントが示されている。また、対話的な学びを促す吹き出しがある。 ○巻末には「振り返りページ」や音楽記号の一覧ページなどが設けられており、随時、関連事項を振り返ることができる。 ○児童の興味関心を引き出す工夫として、動画や資料を見ることができる二次元コードが多数掲載されている。

総合評価A	理 由
<p>【9】 開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キャラクターを用いてめあてのヒントを示すとともに、QRコードから利用できる「ひらめきショートチャレンジ」を活用して、楽しみながら造形的な発想の方法を学ぶことができる。また、吹き出しやコメントに、発想や構想、見方を広げるヒントを示し、児童にとって特にわかりやすい工夫をしている。 ○多様な人々が造形に関わっている姿や、活躍している美術作家からのメッセージを掲載し、キャリア教育に関する内容を取り上げている。SDGsの取り組みや作品の紹介、国際交流や福祉、平和教育、多文化共生に関わる内容を扱っている。 ○身近な材料を使った題材から、段階的に発想や構想を広げていけるように系統的に題材配列が工夫されている。「学びの資料」でも、形や色などの造形要素、表現技法や材料、用具の知識を示してあり、表現活動と鑑賞を一体的に扱うなど、内容と育てたい資質・能力が、非常にバランスよく構成されている。 ○「みんなのギャラリー」「つながる造形」「あわせて学ぼう」では、教科横断的な学習の手立てとなり優れている。 ○低学年では、身体性を伴う造形活動や身近な自然や友達との関わりを大切にする教材が多く設定され、今までの体験を元に活動が展開できるようによく工夫されている。 ○造形遊びで表現したものを新たな活動に発展させたり、絵画や工作で作った作品を使って発表会をしたりなど、作品が新たな活動を促す契機となるように工夫している。
<p>【116】 日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生活や社会と豊かに関わる資質・能力を育成するように工夫されている。「友達の作品を見て話そう」など、対話を通して思考力を働かせ、学びを深めることができるように非常に配慮されている。 ○持続可能な社会の創り手として、環境、地域文化・伝統文化、多文化共生、国際理解、平和・人権、防災・安全に関わる現代的な諸課題が多岐にわたって取り上げられている。 ○グループ活動など友達と協力して活動することを通して、様々な発想や構想などに気づけるような題材設定がされている。また、版の特性を生かす題材や粘土を扱う作品を具体的に紹介し、能動的な表現活動を取り入れ、表現と鑑賞を往還しながら学びを深めることができる。 ○全身の感覚を使って材料や用具に触れる題材が設定されている。また、形や色に主体的に関わることを促すような写真が多く掲載されており、児童の選択肢が多く、特に工夫されている。 ○低学年で、幼児期の知識や経験を生かしながら小学校の学習に入っていけるように配慮されており、入学当初の児童の特性や発達段階に適した題材が設定されている。高学年では既習内容を振り返りながら、中学校への学びのつながりを意識できるように工夫されている。 ○「つながる学び」では、関連する内容と結び付けながら、教科等横断的な学習ができるように工夫されている。 ○QRコンテンツや3種類の「アートカード」など、楽しみながら鑑賞し表現する方法を促す工夫が優れている。

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○「見つめよう→計画しよう・実践しよう→生活に生かそう・新しい活動を見つけよう」という3つのステップで学びが構成されている。 ○「生活を変えるチャンス」が設定されており、日常生活の中から問題を見出して課題を設定し、学習したことを生かして解決方法を考えさせることができる。 ○家庭科室探検のページがあり、家庭科室を使用する前に、家庭科室の使い方について考えさせることができる。 ○調理実習の単元において、調理の内容だけではなく、マナーや盛り付けについても示されている。 ○安全面で気をつけることが巻頭にまとめてある。また、「○」の場合と「×」の場合で示してあり、比較して考えることができてわかりやすい。 ○巻末に右利き、左利きの調理・製作の写真や動画が多数掲載されている。 ○紙質が良く色が鮮やかで、写真が見やすくなっている。 ○「夏をすずしくさわやかに」「冬を明るく暖かく」を同じ学年で学習する構成になっており、児童の記憶にも残りやすく、比較して考えやすい。 ○「成長の記録」があり、見通しを持って学習ができる。また、各単元のふり返りを一目で見ることができる。
【9】 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びを実現できるように、「気づく・見つける→わかる・できる→生かす・深める」という3つのステップで学びが構成されている。 ○「生活の課題と実践」の取り組みが5つのステップで示されており、生活の中から課題を見つけて取り組むことができるようになっている。 ○教科書の紙質が、鉛筆や消しゴムを使う児童の実態に合ったものになっている。 ○実習の流れが横一列に提示してあり、学習の流れが非常に理解しやすい。 ○単元番号が、5年生も6年生も「1」から始まっており、学年の境目が分かりやすい。 ○「衣生活」「食生活」など、インデックスに項目が書かれてあり、どの項目を学習しているかわかりやすい。 ○「話し合おう」という場面が多数設定されており、児童が教え合ったり相談したりしながら主体的に学べるように工夫されている。 ○単元ごとに「ふり返り」「これからの生活にどう生かしていくか」を書く欄があり、学習したことを生活にどうつなげていくのかを考えさせることができ、非常に使いやすい。 ○安全防災に関わる内容について、防災マークをつけて示したり、特設ページを設けたりして、児童自身が災害への意識を持つことができるように配慮されている。 ○プログラミングについて、食事、掃除、洗濯など複数の作業について、設定されているプログラムの例がいくつも提示されており、プログラミングと生活との関わりを実感することができる。

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○保健の見方・考え方を働かせ、課題を見つけ、その解決に向けた学習過程を通して生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成することができるように、各項がステップ1～4で構成されている。 ○「個人差」や「自分らしさ」の記載が随所にあり、個人の価値を尊重する態度を養うことができるように配慮されている。また、他学年の内容との関連が随所に示されており、系統性のある指導ができるように配慮されている。 ○「他の人の意見を聞いて考えたことやわかったことを書く」活動が設定されており、仲間と対話的に課題を解決していくことができるようになっている。 ○学習したことを自分の生活と関連づけて考える発問が設けられており、生活との関連の重視に配慮されている。児童が考えて書き込む箇所が充実しており、非常に使いやすい。また、それを生かして、児童が意見を交流することができる工夫がされている。 ○豊富な資料やQRコンテンツが使用されており、児童にとって特に理解しやすい。 ○各章の扉には、学習内容と関係するSDGsの目標が記載されているとともに特設サイト「SDGsわたしがつくるみらい」を視聴できる二次元コードが付されている。
【50】 大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○各学習項目が、身近な生活の中から課題をつかみ、見通しを持つ「ステップ1」、課題を解決するための活動「ステップ2」、学習をまとめる「ステップ3」で構成されている。 ○学習指導要領に示された配当授業時数内で学習指導要領の目標及び内容がもれなく指導できるよう、単元を配列し、教材を選定している。 ○「章とびら」では、アスリートの健康や安全に関する内容を対話形式で取り上げ、児童が学習内容に興味・関心をもって取り組めるように配慮している。また、スポーツをすることと心の発達との関係を児童が理解しやすいように配慮している。 ○各学習項目の最後の「まとめ 生かそう 伝えよう」では、学習過程で身に付けた見方・考え方を確認したり、次の学びにつなげたり、実生活や実社会で活用したりすることができるように配慮している。
【224】 学研	<ul style="list-style-type: none"> ○「導入（課題をつかむ）」→「ピース①（自ら取り組む活動）」→「ピース②（対話的活動）」「ピース③（活用）」で構成している。課題解決の過程を、①から③までの3つのピースを完成させていく流れとし、個別最適な学びと協働的な学びの実現がしやすい。 ○体の発育・発達や心の健康を学ぶことを通して、かけがえのない自分に気が付けるようにするとともに、教え合う、学び合う活動により、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を育むことができるように構成されている。 ○身近な生活における健康についての課題を随所に設定し、健やかな身体を養うことができるように工夫している。 ○専門家からのメッセージの形式を用い、児童にとって重要な課題、現代的な課題を説明することで、自らの健康問題を主体的に解決していく力を身に付けることができ

	<p>る。</p> <p>○「もっと知りたい・調べたい」を設け、学習したことを広げたり、深めたりすることができる資料を豊富に掲載している。</p>
--	---

総合評価A	理 由
【2】 東書	<ul style="list-style-type: none"> ○中学年や中学校との接続も含めて、5・6年生を通じた学びを見通すことができるCAN-DO リストを「Can-do の樹」として示し、明確な到達点に向かって学習を進めることができる。 ○「書くこと」に関する活動が、豊富である。 ○全単元が「Starting Out→Your Turn→Enjoy Communication→Over the Horizon」の見開き4パート・1ページ1時間を基本として構成され、学習の流れの見通しがつきやすい。 ○語彙・表現集が、別冊「My Picture Dictionary」にまとめられており、単語を書き写すときに教科用図書の横に並べて学習を進められる。また、自分が調べた「マイ単語」を記入できる。 ○デジタル教材では音声・動画コンテンツが豊富で、モデル動画やチャンツ、童謡、ゲーム等の資料映像が多く、児童が英語に関心を持ちやすい。
【9】 開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の中で、実際に英語を使ってお互いの気もちや考えを伝えあう言語活動が充実している。単元学習のまとめで、アウトプットとして、「Activity」に尋ね合ったり発表したりする活動が設けられている。 ○児童の発表の様子を収録したモデル動画は、相手に分かりやすく伝えたり、反応したりする方法がイメージしやすいなど、デジタルコンテンツが充実している。 ○新出言語材料の分量や提示の仕方は、児童の発達段階に考慮されており、その内容が繰り返し提示されて理解・習熟を促すことができる。 ○別冊の「Word book」は、言語材料を理解したり練習したりする活動に取り組みやすい。 ○全単元がほぼ同じ構成のため、見通しがつきやすく、ペアやグループで伝え合う活動が多く配置され、英語を使いながら学ぶ構成になっている。 ○「聞く」「話す」の活動が多く取り入れられており、「Let's Listen and Read」の活動で、音声で十分慣れ親しんだ英語と文字を結び付け、文字への学習が円滑に接続するよう工夫されている。 ○絵を手掛かりに自分の考えや気持ちを伝える言葉を選べる別冊「Word book」や、児童が学習の積み重ねを実感しながら取り組むことができる巻末の書き込みページなど、主体的な学びが実現できるよう、自分の成長や課題を確かめながら学習に取り組む工夫がなされている。
【15】 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○車いすバスケットボールといった障がい者に関するトピックや、地雷問題など国際理解・国際協力について学習することができる内容が扱われている。 ○ワークシート等を書く量や語彙数等は、児童の発達段階に即した分量である。 ○別冊「My Dictionary」の内容はよく精査され、学習した表現や会話が掲載されており、児童の伝え合う学習において手掛かりになる。 ○言語材料は平易なものから段階的に配列され、アウトプットの前に十分にインプット

	<p>ができる構成になっている。</p> <ul style="list-style-type: none">○それぞれの教材で1時間の授業が音声から文字へ、練習活動からコミュニケーション活動へとスムーズに流れるように活動が配列されている。○単元構成が大きく3つに分けられており、Unitごとの目標が、児童に理解しやすい。各Unitは児童が自らのゴールを設定し、全体の見通をもって学習を進めることができる。
--	--

総合評価A	理 由
【2】 東書	<p>○教材の冒頭に主題だけが書かれており、内容に先入観なく取り組むことができている。また、終末から考えを深め、他教科や生活につなげやすくなっている。</p> <p>○特に挿絵が効果的に使われており、表情がわかりやすい工夫がされている。</p> <p>○発達の段階や各学年の特性を鑑みて、授業の焦点をわかりやすくとらえることができる。</p> <p>○児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう、漫画や絵本、各ページの挿絵・写真などが幅広く配置されており使いやすい。</p> <p>○目次がシンプルで見やすく、巻末に考えるためのツールが非常に良い。また、冒頭に道徳の学びについて、進める流れが提示されておりわかりやすい。</p> <p>○教材と関連する資料等が示されており、他教科との関連や日常生活とのつながりなどについて考えやすくなっている。また、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されているところがよい。</p>
【38】 光村	<p>○定番教材が豊富なことに加え、いじめや情報モラル、環境、共生などの現代的な課題に関する教材やコラムがどの学年にも設けられているところがよい。</p> <p>○自己の生き方について考えるなど、発達段階に応じて教材の提示が工夫されている。また、いじめについての教材が重点的に取り扱われているところがよい。</p> <p>○各学年とも、1年間を3つのまとまりに分け、教材が4つの視点でバランスよく組織・配列されている。また、児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするよう工夫がなされている。</p> <p>○考えるためのヒントや自分の考えを広げて深める具体的な手立てが示されており、考えやすい。また、「学びの記録」が一言でまとめる形式で、学習の振り返りがしやすい。</p> <p>○教材の末尾が工夫され、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮されている。</p>
【116】 日文	<p>○教材の冒頭であらすじや主な登場人物について短くまとめられており、見通しをもって教材に入りやすい。また、児童と同年代の主人公設定が多いので、非常に親しみやすく扱いやすい。</p> <p>○1年生から一人ひとりに個性があることを知り、ジェンダー理解へとつなげる教材や人権にかかわる教材が設けられているところが非常によい。</p> <p>○自己の生き方について考えるなど、児童にとってより考えやすいよう配慮されており、特にいじめについての教材が重点的に取り扱われている。さらに道徳ノートが紛失しない工夫が非常によい。</p> <p>○各学年において他教科や現代的な課題との関連を意識した教材が配置され、児童が意欲的に考えたり、教材の理解がしやすくなったりするような工夫が随所にされている。</p>

- | | |
|--|--|
| | <p>○道徳ノートは、発問が記載されていないことで、活用しやすくなっており非常によい。
また、教材ごとに振り返ることができ、目標設定につなげやすいよう工夫されている。</p> <p>○「心のベンチ」「見つめよう・生かそう」などで、学んだことを更に深く心にとどめたり、これからへの思いや課題について考えたりすることができるよう配慮され、扱いやすくなっている。</p> |
|--|--|